



平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義を説明する学校
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 舞鶴市立白糸中学校 】

1 実践テーマ	【 I・V】
2 実施対象者	舞鶴市立白糸中学校 (1) 講演会 対象：全校生徒・教師 人数：500名 (2) 実技講習会 対象：陸上競技部員 人数：40名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックそのものについて学び、スポーツに関心を持つとともに、舞鶴市とウズベキスタンの関係を知ること、オリンピック・パラリンピックについてより理解を深める。また、オリンピックから直接指導を受けることにより、陸上競技に対する意欲と技術の向上を図る。
5 取組内容	(1) 日本代表コーチによる講演会 ①日時 平成29年12月8日（金） ②講師 三村和人先生（日星高等学校指導教諭） JOC認定レスリング上級コーチ ③内容 ア オリンピックマークの意味 イ オリンピック・パラリンピックの歴史と目的 ウ 舞鶴出身のオリンピック選手 エ オリンピック選手になる為に今必要なことは何か オ 舞鶴とウズベキスタンとの関係
	 

	<p>(2) オリンピアンによる実技講習会 ①日時 平成29年12月15日（金） ②講師 山口有希先生（東舞鶴高等学校教諭） アテネオリンピック陸上競技日本代表 ③内容 ア ウォーミングアップの意味 イ 速く走るための基本動作 ウ フォームを意識した走実践 エ オーバースピードトレーニングの実践 オ 走るための体づくり</p>  
6 主な成果	(1) オリンピックに関わっておられる専門的な指導者から、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史、五輪のマークの意味を聞くことで、スポーツをより深く知ることができた。 (2) 舞鶴にゆかりのあるオリンピックの話や、ウズベキスタンの事前合宿誘致の話聞くことで、東京オリンピック・パラリンピックを身近に感じるようになった。 (3) 一流の指導者の話を伺い、スポーツ全体に関心を持つと同時に、目標を達成するために、今の自分たちにとって必要なことは何なのかを考えるきっかけになった。 (4) オリンピアンからの直接指導や、実際にスピードを体感することで、陸上競技に対する意欲や意識が高まった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	(1) オリンピック事前合宿の誘致が決定しているため、国際的な指導者の中で、それに関連した話が聞ける講師を選定した。 (2) 単純にオリンピック・パラリンピックを知るだけでなく、今の生活の大切さを教える機会になるよう工夫した。 (3) 舞鶴市在住のオリンピックから指導を受け、オリンピックを身近に感じることができるよう工夫した。
8 主な課題等	単発的な取組で終わるのではなく、2020年を見据えた計画のもと実施していきたい。
9 来年度以降の実施予定	目的を具体化させる中で、事業の計画を早め、オリンピック・パラリンピックに興味をわくという視点だけでなく、生徒の生きる力につながるような取り組みにしていきたい。